

政策番号	15	政策分野	地域福祉
------	----	------	------

基本方針	住民が主体的に地域福祉活動に取り組むことを通して、住民自治の機能をさらに高めるとともに、公的な福祉制度・施策を提供する行政や公共的団体が密接に連携しともに実践する協働の取組の展開を図ることにより、地域のなかでひとりひとりが自己決定に基づいて自立した生活を実現する。これらの取組を原動力として「地域の福祉力」をつむぎ、すべての住民の基本的人権が尊重され、だれもがくらしやすい地域の実現をめざす。
------	---

担当局	保健福祉局	共管局	
-----	-------	-----	--

政策に関する 主な分野別計画等	京・地域福祉推進指針
--------------------	------------

政策の評価

1 客観指標評価

政策の客観指標評価		23年度 評価値	32年度 目標値	28 年度	29 年度	30年度評価				
						前回値	最新値	目標値	達成度	評価
1	民生委員活動数(件)	225,478	-	c	e	261,083	254,674	274,185	92.9%	e
2	老人福祉員訪問者数(人)	30,042	-	a	b	34,588	34,780	34,752	100.1%	a
				b	d					d

施策の客観指標評価		評価		
施策番号	施策名	28年度	29年度	30年度
1501	地域の福祉ニーズの把握(2指標)	b	a	a
1502	地域におけるつながりの構築(3指標)	b	b	a
1503	関係者の連携・協働の推進(1指標)	a	a	a
1504	地域福祉を通じた安心・安全のまちづくり(2指標)	b	d	d
(4施策平均)		a	b	a

政策の客観指標総合評価 (政策の客観指標評価:施策の客観指標評価＝1:0.5)	28年度	29年度	30年度
	a	c	c

2－1 市民生活実感評価

番号	設問	評価		
		28年度	29年度	30年度
1	社会的に弱い立場にある高齢者や障害のあるひとが、地域ぐるみで見守られている。	c	c	c
2	地域福祉活動などのボランティア活動に参加しやすい地域づくりが進んでいる。	c	c	c
3	地域において福祉にかかわる民生委員などのボランティアのひとびとが活発に活動している。	c	c	c
4	地域のつながりが、福祉活動や防犯・防災の取組に役立っている。	c	b	c
政策の市民生活実感調査総合評価		c	c	c

2－2 政策の重要度(27政策における市民の重要度)

28年度		29年度		30年度	
順位	%	順位	%	順位	%
15	80.2%	19	79.1%	19	81.0%

3 総合評価

C	政策の目的がそこそこ達成されている		
【客観指標総合評価】 ☐ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・福祉課題が多様化、困難化する中、民生委員・児童委員は、地域の見守り活動をはじめ、相談事案への対応や関係機関との会議への参加など、多岐にわたる活動を行っているものの、相談等の直接対応の件数や地域の関係機関・団体との協働活動等の件数が減少しており、民生委員活動数が減少した。		29年度	C
【市民生活実感調査総合評価】 ☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・大半の設問における多数回答が「どちらとも言えない」であり、民生委員・児童委員や老人福祉員の活動をよく知らない人が多いなど、地域活動に対する市民の関心と理解が十分に広がっていないことが背景にあると考えられる。		28年度	B
【総括】 ・住民が主体となった地域福祉活動について、引き続き市民全体に周知を図っていく必要はあるものの、老人福祉員の訪問者数は目標値を達成した。 ・こうしたことを総合的に勘案し、政策の目的は、「そこそこ達成されている」と評価する。			

今後の方向性の検討

<この政策を構成する施策とその総合評価(客観指標評価+市民生活実感評価)>

施策番号	施策名	総合評価		
		28	29	30
1501	地域の福祉ニーズの把握	B	B	B
1502	地域におけるつながりの構築	C	C	B
1503	関係者の連携・協働の推進	B	B	B
1504	地域福祉を通じた安心・安全のまちづくり	C	C	C

<今後の方向性>

①地域の福祉ニーズの把握

・今後も区地域福祉推進委員会などの取組や、地域の主体的な活動の活性化を通じて、地域の実情や特性に応じた課題の共有や、地域資源を活かした取組を進めるとともに、それらの活動を広く市民に周知し、地域福祉活動の普及・啓発に取り組むことで、福祉ニーズの把握の拡大を図っていく。

②地域におけるつながりの構築

・ボランティア活動がしやすい風土を形成していくとともに、社会福祉協議会の活動や民生委員・児童委員の活動等、地域福祉活動の担い手を育成していく。

③関係者の連携・協働の推進

・福祉を必要としている方のニーズに合わせた福祉サービスの提供ができるよう、地域福祉の推進に取り組んでいく。

④地域福祉を通じた安心・安全のまちづくり

・住民の安心・安全な暮らしを実現していくために、ボランティア活動がしやすい風土づくりを今後も進めるとともに、地域においても、自主的な活動の輪が広がるよう、支援を引き続き行う。また、こうした取組を広く住民に知ってもらい機会を増やすことで、住民が地域のつながりを感じることでできる環境づくりを進め、地域での福祉活動や防犯・防災の更なる活性化につなげていく。

政策名	15	地域福祉					
指標名	民生委員活動数（件）						
担当部室	健康長寿のまち・京都推進室		連絡先	7 4 6－7 7 1 3			
1 指標の説明							
本市民生委員の相談・支援及びその他の活動件数							
2 指標の意味			3 算出方法・出典等				
自治・協働による地域の福祉力を示す指標			算出方法：全数調査 出典：事業担当課調べ				
4 数値							
10年後（平成32年度）の目標値	平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠				
	225,478	-					
	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値			
	28年度	29年度		数値	根拠	達成度	
数値	261,083	254,674	6,409件減	274,185	過去5年間の最高値（平成25年度）	92.9%	
	全国順位	中長期目標			備考	（参考：過去5年の活動数） 24年度：258,065件 25年度：274,185件 26年度：265,575件 27年度：263,066件 28年度：261,083件	
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値							
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果		
最新の数値が過去5年間の a：最高値以上 b：最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上 c：上中間値未満～平均値以上 d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上 e：下中間値未満			当該指標については民間部門の寄与度が高いことから、過去5年間の数値を基に、最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。 最高値：274,185件（平成25年度） 平均値：264,395件 最低値：258,065件（平成24年度）		282930 c e e		

指標名	老人福祉員訪問者数（人）						
担当部室	健康長寿のまち・京都推進室		連絡先	7 4 6－7 7 1 3			
1 指標の説明							
老人福祉員が訪問している一人暮らし高齢者数							
2 指標の意味			3 算出方法・出典等				
高齢者を支えるネットワークの構築がどれだけ進んでいるかを示す指標			算出方法：全数調査 出典：事業担当課調べ				
4 数値							
10年後（平成33年度）の目標値	平成23年度評価値	平成33年度目標値	根拠				
	30,042	-					
	前回数値	最新数値	推移	単年度目標値			
	28年度	29年度		数値	根拠	達成度	
数値	34,588	34,780	192人増	34,752	過去5年間の最高値（平成27年度）	100.1%	
	全国順位	中長期目標			備考	（参考：過去5年の指標数値） 24年度：32,314人 25年度：33,855人 26年度：33,762人 27年度：34,752人 28年度：34,588人	
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値							
5 評価基準			6 基準説明		7 評価結果		
最新の数値が過去5年間の a：最高値以上 b：最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上 c：上中間値未満～平均値以上 d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上 e：下中間値未満			過去5年間の数値を基に、最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。 最高値：34,752人（平成27年度） 平均値：33,854人 最低値：32,314人（平成24年度）		282930 a b a		